

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年01月31日

計画の名称	常滑市における下水道普及の推進（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	常滑市														
計画の目標	・下水道の整備を行い、伊勢湾の水質保全を推進するとともに、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		6,257	A	6,257	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（H32末）	（H34末）
1	・下水道普及率を48%（H30当初）から52%（H34末）に増加する。			
	下水道普及率	48%	50%	52%
	下水道の接続が可能な処理区域人口（人） / 常滑市の行政人口（人）			
2	・処理場水処理施設能力確保率を43%（H30当初）から62%（H34末）に増加する。			
	処理場水処理施設能力確保率	43%	43%	62%
	建設した最初沈澱池・反応槽・最終沈澱池の土木躯体で確保可能な処理能力（m3 / 日） / 全体計画の処理能力（m3 / 日）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	管渠（ 污水）	新設	常滑処理区（面整備）	污水管 109ha 設計、工事	常滑市	■	■	■	■	■	1,978		-
	A07-002	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	管渠（ 污水）	新設	宮石地区幹線管渠	污水管 0.291Km 工事	常滑市	■	■				80		-
	A07-003	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	終末処 理場	新設	常滑浄化センター	水処理施設・流入ポンプ棟増 設工事	常滑市	■	■	■	■		4,199		-
											小計						6,257		
											合計						6,257		
	A07-004																		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

市内部組織での評価

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

常滑市ホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道の整備を行い、下水道の接続が可能な処理区域人口が増加し、下水道普及率が48%から55%となった。
処理場水処理施設の整備を行い、処理場水処理施設能力確保率が43%から62%となった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き污水管及び常滑浄化センターの整備を行うことで、伊勢湾の水質保全を推進するとともに、快適な暮らしを実現し、良好な環境の創造に資するものとする。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道普及率		
	最 終 目標値	52%	計画どおりの整備を行い、目標値を達成した。
	最 終 実績値	55%	
2	処理場水処理施設能力確保率		
	最 終 目標値	62%	計画どおりの整備を行い、目標値を達成した。
	最 終 実績値	62%	